

天皇家の故郷は高千穂

家持歌碑前で万歳三唱

高天原で幕開け祝う高千穂町

高千穂町と高千穂神社が主催した「踐祚（せんそ）改元奉祝祭」が1日に行われ、国見ヶ丘での神楽奉納などの後、穂觸（くしふる）神社近くの高天原（風土記万葉の丘）までパレード、「天皇家の故郷は高千穂」と刻まれた大伴家持の歌碑前で万歳三唱、新時代の幕開けを祝った。（3面に関連記事）

高千穂神社では、後藤俊彦宮司による神事などがあり、高千穂三田井地区神楽保存会が神楽「住吉」を奉納。その後、御興隊や神楽隊、高校生ら

約170人が「祝 令和」を持って練り歩いた。高天原にある歌碑「高千穂碑」は1966（昭和41）年に建立され、家

持の長歌が刻まれている。後藤宮司は「ここは高千穂にとって大切な場所。皆さんとともに立ててうれしい。令和の時代を盛り上げていただきたい」と話した。

パレード参加者のほか、地域の人が、甲斐宗之町長の「令和、日本



「高天原（風土記万葉の丘）」で万歳三唱（1日）



高千穂高校生を先頭に練り歩いたみこしや神楽隊など

万歳の発声で万歳三唱。繁栄や平和を願って大きな万歳の声を神話の里に響かせた。

